

第8回横浜トリエンナーレ 応援プログラム募集

会期中に開催の文化・芸術イベントが対象

第8回 横浜トリエンナーレ
野々：いま、
ここで生きている
2024年3月開幕



募集期間

2023年
11/1 (水)
<締切>
2024年
4/19 (金)

横浜トリエンナーレ組織委員会では、第8回横浜トリエンナーレの会期中、一緒に横浜のまちを盛り上げていただける文化・芸術分野のイベントを「応援プログラム」として募集します。応援プログラムは、現代アートに限らず美術、映像、写真、演劇、音楽、ダンスなどのジャンルや、展示、ワークショップ、講演会などの発表形式も問いません。ご応募いただいたイベントは、第8回横浜トリエンナーレ公式WEBサイト内などで紹介します。

対象：団体（法人格の有無は要しません）

「ヨコハマトリエンナーレ2020」応援プログラム
アート寺子屋～夏休み工作ワークショップ「光のオブジェをつくる！」

お申し込み・詳細
こちらのQRコードから



登録した応援プログラムの主催団体の皆様には、ぜひ、第8回横浜トリエンナーレをご鑑賞いただき、SNS投稿やチラシの配布などにご協力をお願いします。

応援プログラム主催団体の取組

- ◆ 広報媒体（印刷物やWEBサイト等）への指定ロゴの掲載
- ◆ 第8回横浜トリエンナーレのチラシ配布・配架
- ◆ 横浜トリエンナーレ公式SNSのフォロー
- ◆ 第8回横浜トリエンナーレ鑑賞後、SNSで「#横浜トリエンナーレ」「#横トリへ行こう」を付けて感想を投稿
- ◆ 実績報告書・記録写真の提出
- ◆ 終了後のアンケート回答

相互
協力

横浜トリエンナーレ組織委員会の取組

- ◆ 公式WEBサイトへの掲載
- ◆ 公式記録集への掲載
- ◆ イベント・コミュニティプラットフォーム「ピーティックス」内の横浜トリエンナーレ特設ページへの掲載権付与



※公式WEBサイトや公式記録集は、一覧での掲載となります。

○登録特典

- ◆ 第8回横浜トリエンナーレ招待券 4名分
- ◆ 公式記録集 1冊

○主な応募要件

会期中（2024年3月15日～6月9日）に横浜市内で行われる文化・芸術分野のイベントで、「第8回横浜トリエンナーレ」のテーマ「野草：いま、ここで生きてる」に関連した内容であること。テーマの意味は、自由に読み取ってください。

地球全体で取り組むべき危機について、あるいは多様性や自然との共生や日常の生きづらさをテーマにしたもの、これからの未来を生き抜くための希望を見出すようなものも対象です。また、歴史を振り返るもの、中国、魯迅、文芸、草花などをテーマにしたものでもご応募いただけます。

また、現代アートに限らず美術、映像、写真、演劇、音楽、ダンスなどのジャンルや、展示、ワークショップ、講演会などの発表形式も問いません。

○応募方法

横浜トリエンナーレ組織委員会公式WEBサイトで募集要項をご確認の上、申込フォームに必要事項を入力して応募してください。



※申込フォームは、横浜市電子申請・届出システムを使用しています。
※申込フォームを利用できない場合は、組織委員会へメールでお問い合わせください。

○締切

2024年4月19日（金）

○その他

募集の詳細は横浜トリエンナーレ組織委員会公式WEBサイトをご覧ください。

<https://www.yokohamatriennale.jp/news/news-20231101/>

第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」

新型コロナウイルス感染症のパンデミックや、気候変動と環境破壊、各地で繰り返される紛争や戦争など、わたしたちは今、地球全体で取り組むべき大きな危機に直面しています。こうしたさまざまな課題は、国という枠組みや資本主義といった社会システムの限界も明らかにしています。先行きの見えづらいこの時代に開かれる第8回横浜トリエンナーレでは、文学や美術による社会の変革を目指した中国の小説家、魯迅（ろじん、1881-1936）を出発点とします。今から100年前に魯迅が中国の激動期に書いた散文詩集『野草』には、時代の波に翻弄されながらも、ひとりひとりの生命を慈しみ、たくましく生きようとする精神があらわれています。魯迅のそうした哲学は、今もなお文化をとおして時や国境をこえ生き続けています。この展覧会では魯迅が生きた時代から今日までの約100年

間を射程とし、その間におきた歴史の転換点や重大な事件を、世界各地のアーティストの作品をとおして振り返ります。そこには多様な個性をもつわたしたちが、いかに手を取り合い、自然と共生し、これから生きるべきかという問いへのヒントも込められていることでしょう。個々人の命ははかなくとも、それらがつながることで困難を乗り越える力になると信じて、本展はひとりひとりが未来を生き抜くための希望を見いだす場を目指します。

会期：2024年3月15日（金）～6月9日（日）

開場日数：78日間

会場：横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO

主催：横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

公式WEBサイト：<https://www.yokohamatriennale.jp>

お問い合わせ：横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 応援プログラム担当

メール：nw-triuenp@city.yokohama.jp

電話：045-663-7232（平日10:00～18:00）